

D-Link DWL-3200AP

802.11b/g Wireless Access Point

設置マニュアル

.....

ご注意

本書は、本シリーズの仕様、設置方法など使用するために必要な基本的な取り扱い方法を記載しています。各製品ごとの機能の説明および設定方法については、ユーザマニュアルをご覧ください。

D-Link[®]
Building Networks for People

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

- 警告** この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
- 注意** この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味 ○ はいけない「**禁止**」内容です。 ❶ 必ず実行していただく「**指示**」の内容です。

警告

- ❶ 分解・改造をしない
分解禁止 機器が故障したり、異物が入ると、やけどや火災の原因となります。
- ❶ 落としたり、重いものに乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
禁止 故障の原因につながります。
- ❶ 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない
禁止 感電、火災の原因となります。使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなつてから販売店に修理をご依頼してください。
- ❶ めれた手でさわらない
触れ手禁止 感電のおそれがあります。
- ❶ 水をかけたり、ぬらしたりしない
水かけ禁止 内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。
- ❶ 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない
禁止 火災、感電、または故障のおそれがあります。
- ❶ 内部に金属物や燃えやすいものを入れない
禁止 火災、感電、または故障のおそれがあります。
- ❶ 表示以外の電圧で使用しない
禁止 火災、感電、または故障のおそれがあります。
- ❶ たこ足配線禁止
禁止 たこ足配線などで定格を超える火災、感電、または故障の原因となります。
- ❶ 設置、移動のときは電源プラグを抜く
禁止 火災、感電、または故障のおそれがあります。
- ❶ 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない
禁止 感電のおそれがあります。

- ❶ ケーブル/コード類や端子を破損させない
禁止 無理な折り、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。
- ❶ 正しい電源ケーブル、コンセントを使用する
禁止 火災、感電、または故障の原因となります。
- ❶ 乳幼児の手の届く場所では使わない
禁止 やけど、ケガ、または感電の原因となります。
- ❶ 次のような場所では保管、使用をしない
禁止 ・直射日光のあたる場所
禁止 ・高温になる場所
禁止 ・動作環境範囲外
- ❶ 光源をのぞかない
禁止 光ファイバーケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

注意

- ❶ 静電気注意
注意 コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
- ❶ コードを持って抜かない
注意 コードを無理に曲げたり、引っ張りまわすと、コードや機器の破損の原因となります。
- ❶ 振動が発生する場所では使用しない
注意 接触不良や動作不良の原因となります。
- ❶ 付属品の使用は取扱説明書にしたがう
禁止 付属品は取扱説明書にしたがひ、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因となります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
 この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
 本書の記載に従って正しい取り扱いをしてください。

電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線製品として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品の使用する上で、無線局の免許は必要ありません。

本製品は、日本国内でのみ使用できます。

以下の注意をよくお読みになりご使用ください。

- ◎ この機器を以下の場所では使用しないでください。
 - ・ 心臓ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近くで使用すると電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
 - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を必要とする無線局）および特定小電力無線局（免許を必要としない無線局）
 - ・ 電子レンジの近くで使用すると、電子レンジによって無線通信に電磁妨害が発生します。
- ◎ 本製品は技術基準適合証明を受けています。本製品の分解、改造、および裏面の製品ラベルをはがさないでください。

2.4GHz 帯使用の無線機器の電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用している移動体識別用の構内無線局（免許を必要とする無線局）および特定小電力無線局（免許を必要としない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を必要とする無線局）が運用されています。

- ◎ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ◎ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止してください。
- ◎ その他、この機器から移動体通信用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

◎ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

◎ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

目次

安全にお使いいただくために.....	2
はじめに.....	5
1 ご使用になる前に.....	6
1.1 本製品の特長.....	6
1.2 本製品の接続モード.....	7
1.3 パッケージの内容を確認する.....	8
1.4 各部の名称と働き.....	9
1.5 設置と接続.....	10
設置する場合の注意.....	10
アンテナの取り付け.....	10
AC アダプタの接続例.....	10
PoE ベースユニット使用時の接続例.....	11
ウォールマウントキットによる壁面への設置.....	12
2 基本の設定.....	13
2.1 Web ブラウザに接続する.....	13
2.2 セットアップウィザードによる本製品の設定.....	14
2.3 Web ブラウザメニューについて.....	18
3 その他の基本機能.....	19
3.1 Web ブラウザ設定画面のツールメニュー.....	19
3.2 工場出荷時設定に戻す.....	19
4 主な仕様.....	20
5 保証とテクニカルサポート.....	21
製品に関する保証について.....	21
製品に関するお問い合わせについて.....	21
お問い合わせに必要な情報.....	21

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、ユーザマニュアル、および同梱されている製品保証書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項にしたがってご使用ください。

- 本書および同梱されている製品保証書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書および同梱されている製品保証書は大切に保管してください。
- 弊社製品を日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。また、テクニカルサポートご提供のためにはユーザ登録が必要となります。

<http://www.dlink-jp.com/>

1 ご使用になる前に

1.1 本製品の特長

DWL-3200AP はエンタープライズ環境に最適なパワフルで信頼性の高い屋内用無線アクセスポイントです。高スペックと豊富なセキュリティ機能、操作性のよい管理アプリケーションにより、安全性の高い無線ネットワークを提供します。さらに Power over Ethernet(PoE) 受電機能をサポートしており、電源確保の困難な場所への設置も可能で、ダイバーシティ機能を持つ高感度アンテナによる安定した通信とともに最適な無線環境を構築します。

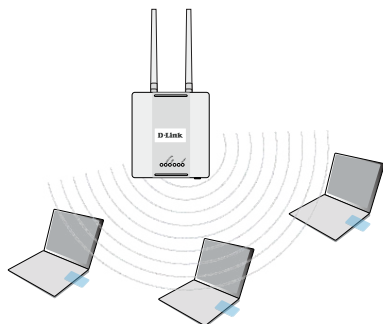
特長

- IEEE 802.11b/g 準拠
- 108Mbps 無線通信 (Turbo モード)
- 5dBi ハイゲインデュアルアンテナ搭載
- WPA/WPA2 エンタープライズで強力な暗号方式
- IEEE 802.1X ユーザ認証
- SNMP v.3
- IEEE 802.3af PoE 受電機能
- IEEE 802.1Q VLAN / マルチ SSID
- GUI/AP マネージャ / Telnet による設定
- RoHS 指令対応

1.2 本製品の接続モード

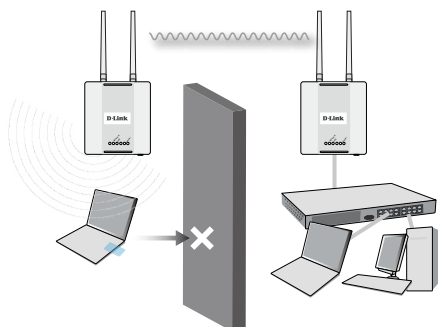
DWL-3200APには次の3つの接続モードがあります。ご使用のネットワークにあわせてご使用ください。

● アクセスポイントモード



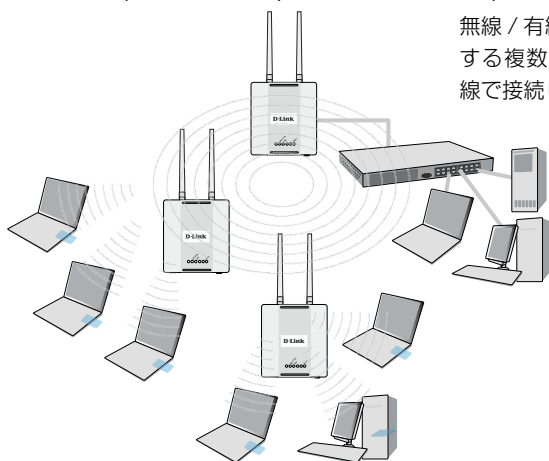
IEEE 802.11b/g 対応無線 LAN クライアントと通信できます。

● WDS モード (Point-to-Pointブリッジモード)



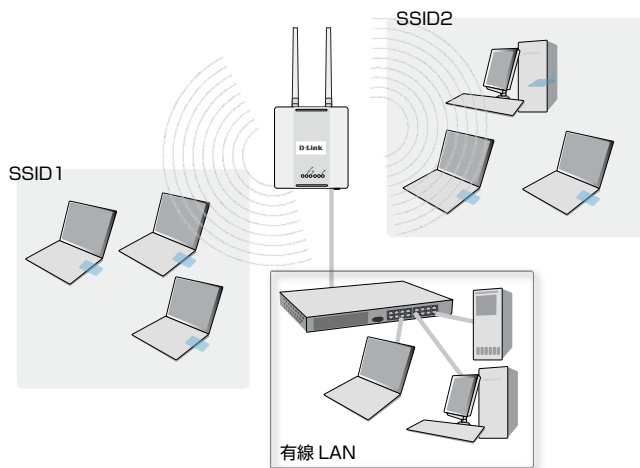
電波を通さない障害物がある場合に無線 LAN クライアントとの通信を中継します。

● WDS モード (Point-to-Multipointブリッジモード)



無線 / 有線 LAN クライアントと通信する複数のアクセスポイント間を無線で接続します。

さらに本製品はマルチ SSID 機能を搭載しており、1つのアクセスポイントに最大8個の SSID を設定して無線 LAN クライアントをグループ分けすることができます。



1.3 パッケージの内容を確認する

DWL-3200AP には以下のものが同梱されています。

同梱物がすべてそろっているかをはじめにご確認ください。

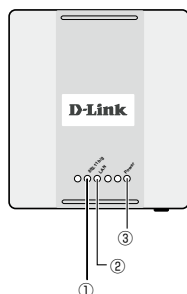
万一、不足しているものがありましたら、弊社ホームページにてユーザ登録を行い、サポート窓口までご連絡ください。

- 本体
- 電源ケーブル
- 電源アダプタ
- ウォールマウントキット
- PoE ベースユニット
- イーサネットケーブル
- 製品保証書
- CD-ROM

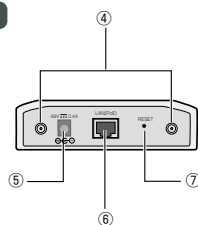
1.4 各部の名称と働き

DWL-3200AP

前面



上面



④ アンテナ端子

本製品に付属のアンテナを接続します。

⑤ 電源コネクタ

PoEによる受電をしない場合に付属のACアダプタを接続します。

⑥ LAN(PoE) ポート

10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。PoE により受電する場合はカテゴリ 5 以上の UTP ストレートケーブルを接続します。

⑦ リセットボタン

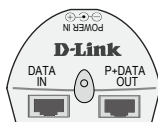
すべての設定を工場出荷時設定に戻します。

ステータス LED

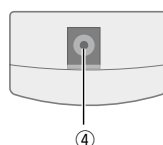
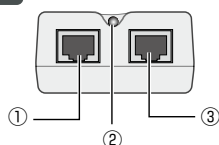
LED	色	状態	内容
① 802.11b/g	緑	点灯	無線 LAN による通信が可能な状態です。
	緑	点滅	無線 LAN によりデータを送受信しています。
② LAN	緑	点灯	10Mbps または 100Mbps でリンクしています。
	緑	点滅	10Mbps または 100Mbps でデータを送受信しています。
	—	消灯	リンクが確立していません。
③ POWER	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。

PoE ベースユニット

前面



背面



① DATA IN ポート

PC、ルータ、またはスイッチなどと UTP ケーブルで接続します。

② Power LED

電源が供給されると緑色に点灯します。

③ P+DATA OUT ポート

本製品の LAN(PoE) ポートとカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルで接続します。

④ POWER IN コネクタ

PoE による給電時に付属の AC アダプタを接続します。

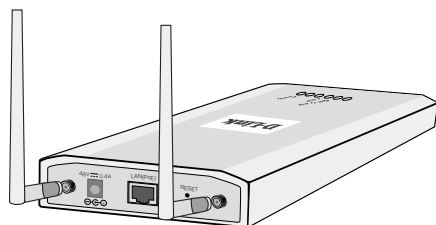
1.5 設置と接続

設置する場合の注意

はじめに「安全にお使いいただくために」2ページをお読みください。また、設置する際には以下の点に注意してください。

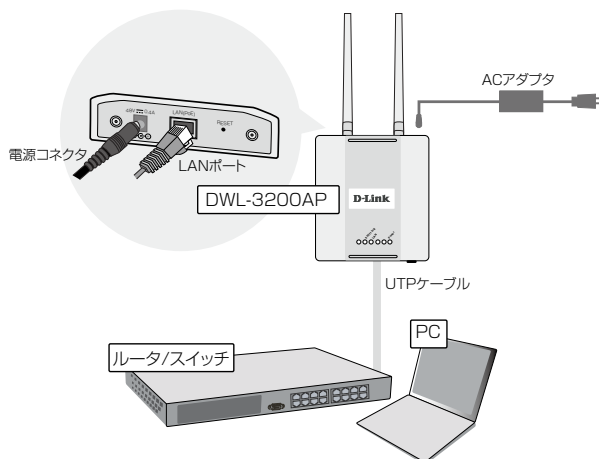
- 直射日光のあたる場所、高温多湿となる場所、または電磁波の影響の大きい場所を避けて設置してください。
- 不安定な場所や傾いた場所に設置しないでください。
- 本製品の通気口をふさがないでください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 必ず付属の UTP ケーブル、AC アダプタをご使用ください。

アンテナの取り付け



1. 付属のアンテナを DWL-3200AP のアンテナ端子に取り付けます。

AC アダプタの接続例

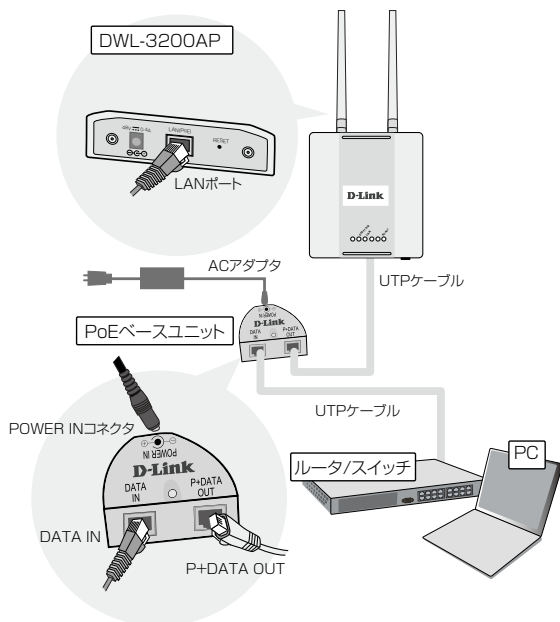


1. DWL-3200AP の LAN ポートとネットワークデバイス (ルータ、スイッチ、または PC) を UTP ケーブルで接続します。
2. DWL-3200AP の電源コネクタに AC アダプタを接続します。AC アダプタに AC ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

PoE ベースユニット使用時の接続例

ご注意

- PoE ベースユニットにはリピータ機能はありません。ご使用のネットワーク機器から本ユニットが電力を供給する DWL-3200AP までの合計ケーブル長（最大）は 100m です。
- PoE ベースユニットは DWL-3200AP 専用です。他の機器には使用しないでください。他の機器を接続すると、機器の破損、焼損のおそれがあります。
- DWL-3200AP の LAN ポートと PoE ベースユニットの P+DATA OUT ポートの接続のためには付属の UTP ケーブルをご使用ください。



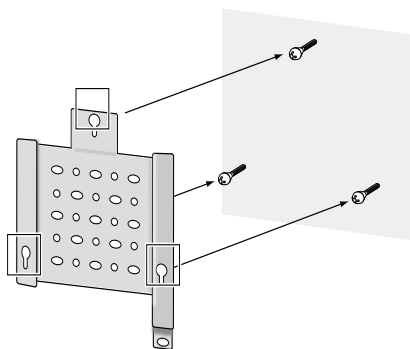
1. DWL-3200AP の LAN ポートと PoE ベースユニットの P+DATA OUT ポートを本製品付属の UTP ケーブルで接続します。
2. PoE ベースユニットの DATA IN ポートとネットワークデバイス（ルータ、スイッチ、または PC）を UTP ケーブルで接続します。
3. ベースユニットの POWER IN コネクタに AC アダプタを接続します。AC アダプタに AC ケーブルを接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

ウォールマウントキットによる壁面への設置

準備：ウォールマウントキットを使用して本製品を壁面に設置するために以下のものをご用意ください。

- ・ウォールマウントキット
- ・付属の本体をウォールマウントキットに取り付けるネジ
- ・付属のウォールマウントキットを壁面に取り付けるネジ

1. 壁面にウォールマウントキット取り付け用のネジをウォールマウントキットのネジ穴間隔にあわせて取り付けます。



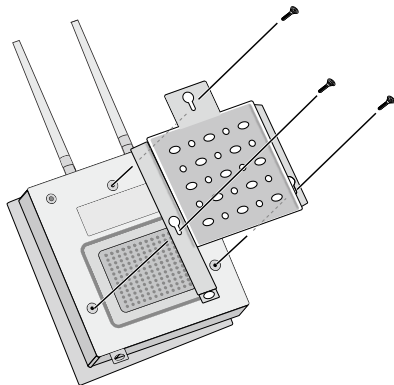
注意

ウォールマウントキットの取り付け位置はアンテナの長さを考慮し、障害物や天井にぶつからない場所にしてください。

注意

石膏ボードやベニヤなどに設置する場合は、あらかじめ壁の厚さを確認の上、きりやドリルで穴をあけて付属のアンカーボルトを埋め込んだ後にネジを取り付けてください。

2. 本製品を付属のネジを使用しウォールマウントキットに取り付けます。



3. 本製品を壁面に取り付けます。

2 基本の設定

2.1 Web ブラウザに接続する

ここでは接続用コンピュータの IP アドレスを本製品と同じ IP ネットワークにあわせて Web ブラウザに接続する方法について説明します。

1. 本製品と設定用コンピュータを UTP ケーブルで接続します。
2. 設定用コンピュータの IP アドレスを本製品と同じ IP ネットワークに設定します。本製品の IP アドレスの初期値は「192.168.0.50」です。設定用コンピュータは「192.168.0.x」(x: 本製品の IP アドレスを除く 1 ~ 254 の数字)、サブネットは「255.255.255.0」を指定します。

参照 本製品の初期値は以下のとおりです。

IP アドレス : 192.168.0.50
サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 0.0.0.0
ユーザー名 : admin
パスワード : なし

3. Web ブラウザを起動し、アドレスに「http://192.168.0.50」を入力します。

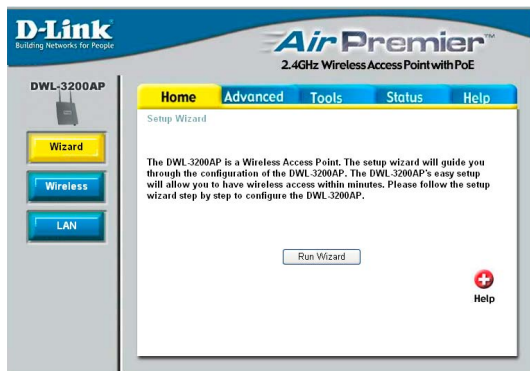
アドレス(D) 192.168.0.50

4. Web ブラウザが起動し、「Login」ダイアログが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。ご購入後はじめてログインする場合には、ユーザー名に「admin」を入力し、パスワードは空白のまま「OK」ボタンをクリックします。



参照 付属のユーティリティソフト「AP Manager」を使用して、本製品を検索することもできます。詳しくはユーザマニュアルを参照ください。

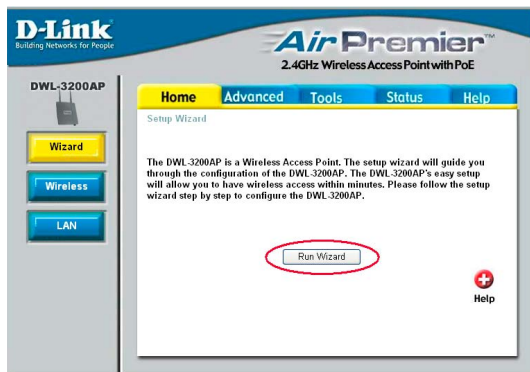
5. 本製品の設定画面が表示されます。



2.2 セットアップウィザードによる本製品の設定

ここでは、Web ブラウザのウィザード画面に従って、本製品に基本的な 802.11g モードの設定手順を説明します。

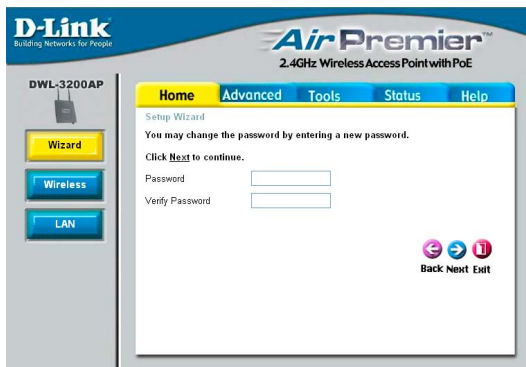
1. 「Wizard」メニューの「Home」画面で「Run Wizard」ボタンをクリックします。



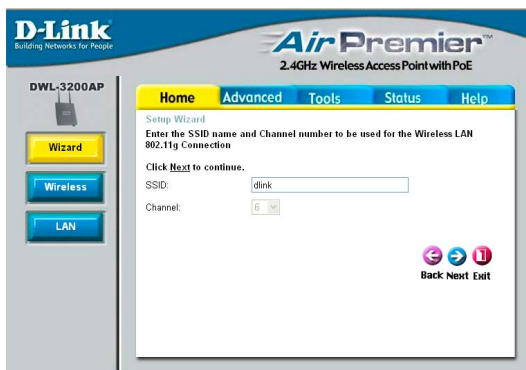
2. 設定手順を記述した以下の画面が表示されますので「Next」ボタンをクリックします。



3. 新しいパスワードを設定します。「Password」 および 「Verify Password」 に新しいパスワードを入力し、「Next」 ボタンをクリックします。パスワードを変更しない場合は「Next」 ボタンだけをクリックします。



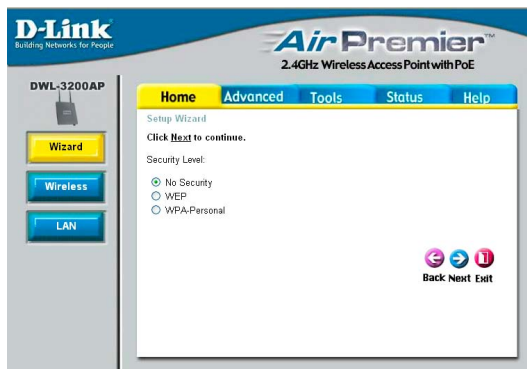
4. 本製品の「SSID」を入力し、「Next」 ボタンをクリックします。



SSID : 無線 LAN の識別名を半角英数字で入力します。初期値は「dlink」です。
Channel : 無線 LAN チャンネルが「6」が設定されています。

注意 セキュリティのために SSID を変更することをお勧めします。

5. 本製品のセキュリティ方式を選択します。初期値は「No Security」です。



No Security : 無線通信の暗号化を行いません。

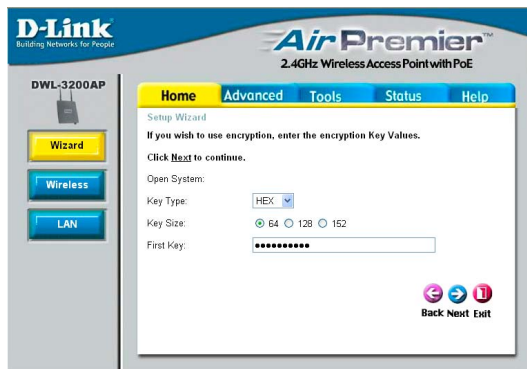
WEP : WEP 方式で無線通信を暗号化します。

WPA-Personal : WPA 方式で無線通信を暗号化します。

注意 セキュリティのために「WEP」または「WPA-Personal」を選択することをお勧めします。セキュリティ設定を行わない場合、第三者により無線通信の内容の傍受、改ざんなどを行われる可能性があります。

6. 選択したセキュリティ方式ごとに詳細設定を行います。設定後、「Next」ボタンをクリックします。

● WEP 方式の設定 :



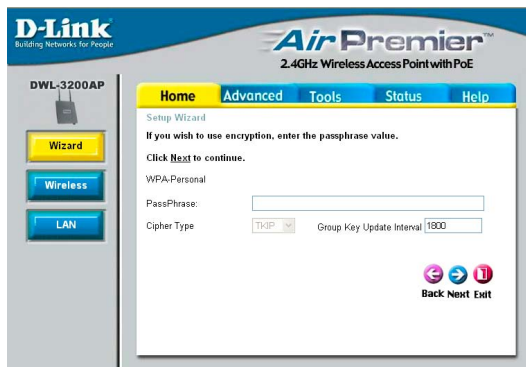
Key Type : 入力する暗号の文字形式を選択します。「ASCII」(半角英数字)または「HEX」(16進数: 0~9、A~Fまでの半角英数字)。初期値は「HEX」です。

Key Size : 暗号の長さを入力します。「64」、「128」、「152」から選択します。初期値は「64」です。

First Key : Wizardによる暗号化設定ではFirst Keyのみ設定できます。選択したKey TypeとKey Sizeで暗号キーを入力します。各設定ごとの入力文字数または入力桁数は以下のとおりです。

Key Size	Key Type	
	ASCII(半角英数字)	HEX(16進数)
64	5文字	10桁
128	13文字	26桁
152	16文字	32桁

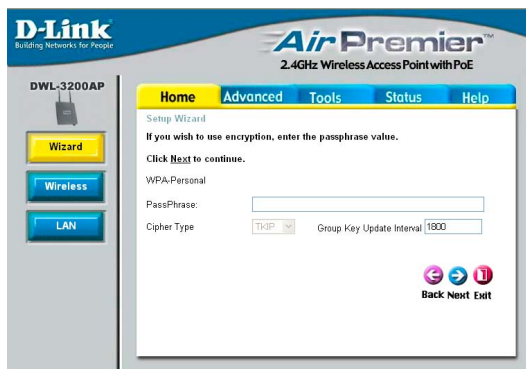
● WAP-Personal 方式の設定：



PassPhrase：暗号キーを半角英数字（8～63文字）で入力します。

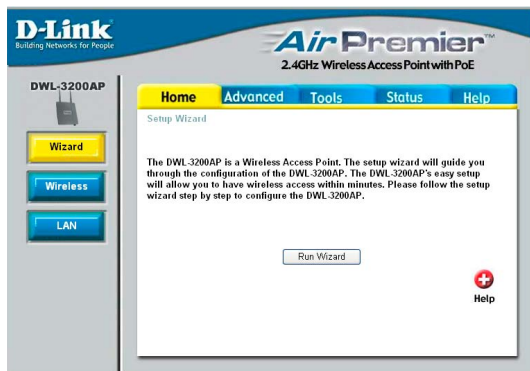
Group Key Update Interval：キーの更新時間（300～9999999）を入力します。初期値は「1800」です。更新間隔を短くすると通信速度が遅くなります。初期値のまま使用することをお勧めします。

7. 設定を有効にするために「Restart」ボタンをクリックし、本製品を再起動します。



2.3 Web ブラウザメニューについて

本製品には機能に合わせ5つのタブメニューがあります。詳細についてはユーザマニュアルを参照ください。



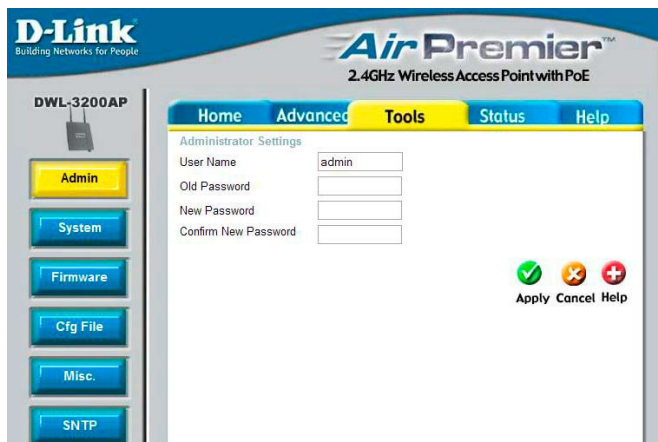
メニュー	機能
HOME	セットアップウィザードによる設定、無線 LAN 設定、本製品の LAN 設定
Advanced	パフォーマンス設定、MAC アドレスフィルタリング、DHCP サーバ設定、マルチ SSID 設定、アクセスポイント接続制限
Tools	管理者設定、システムの再起動・初期化、ファームウェアの更新、設定ファイルの保存・リストア、Telnet 設定、SNMP 設定、SNTP 設定
Status	本製品の状態表示、クライアント表示、ログ
Help	各機能に対するヘルプ情報

3 その他の基本機能

本製品のその他の基本機能について説明します。

3.1 Web ブラウザ設定画面のツールメニュー

Web ブラウザ設定画面のメインページにある「Tools」タブには以下のメニューがあります。本製品のファームウェアの更新や設定ファイルの保存などに使用します。



Admin : ユーザ名、パスワードを設定します。

System : 本製品の再起動または工場出荷時設定に戻します。

Firmware : 本製品のファームウェアの更新をします。

Cfg File : 設定内容のバックアップまたはリストアをします。

Misc. : Telnet および SNMP 設定をします。

SNTP : SNTP/NTP 設定をします。



詳しくはユーザマニュアルを参照してください。

3.2 工場出荷時設定に戻す

リセットボタンを押下することで本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

1. 必要に応じて設定ファイルのバックアップを行い、本製品からログアウトします。
2. 底面のリセットボタンをを 10 秒間押下します。LED は消灯します。
3. リセットボタンを離すと本製品は再起動します。
4. 初期化が完了すると前面パネルの LED 表示は以下のとおりになります。
POWER LED がはじめに点灯し、LAN LED(リンクしている場合) が点灯します。
さらに 802.11b/g LED は点灯後点滅します。



必ずご使用の製品の設定を保存してください。リセットボタンを押すと、すべての設定が消去されます。設定ファイルのバックアップおよびリストア方法につきましてはユーザマニュアルを参照ください。

4 主な仕様

製品の仕様

型番		DWL-3200AP	
無線 LAN	標準規格	IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、ARIB STD-T66	
	周波数帯域	2.4GHz 帯 (2,400 ~ 2,483.5MHz)	
	チャンネル数	13 チャンネル	
	伝送方式	802.11b	直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS 方式): DBPSK@1Mbps、DQPSK@2Mbps、CCK@5.5/11Mbps
		802.11g	直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS 方式): DBPSK@1Mbps、DQPSK@2Mbps、CCK@5.5/11Mbps 直交周波数分割多重変調 (OFDM 方式): BPSK@6/9Mbps、QPSK@12/18Mbps、 16QAM@24/36Mbps、64QAM@48/54Mbps
	アクセス制御方式	CSMA/CA	
	データ伝送速度*	802.11b	1 / 2 / 5.5 / 11 Mbps
		802.11g	6 / 9 / 12 / 18 / 24 / 36 / 48 / 54 / 108(ターボモード) Mbps
伝送距離*	802.11g	屋内: 30m(54Mbps)、99m(6Mbps) 屋外: 112m(54Mbps)、500m(6Mbps)	
アンテナ		5dBi ハイゲイン ダイバーシティダイポールアンテナ (デュアル)	
有線 LAN	標準規格	IEEE 802.3 10BASE-T、IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3af Power over Ethernet	
	インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX	RJ-45 型 8 極コネクタ x 1
		オートネゴシエーション	○
		Auto MDI/MDI-X	○
	適合ケーブル	10BASE-T	カテゴリ 3 以上の UTP/STP ケーブル (100m 以内)
100BASE-TX		カテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブル (100m 以内)	
PoE ポート		カテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブル (8 線結線)	
電氣的仕様	定格入力電圧	DC48V	
	定格入力電流	0.4A	
	消費電力 (最大)	7.0W(AC アダプタ使用時)、8.5W(PoE 使用時)	
環境仕様	温度	動作時	0 ~ 40°C
		保管時	-40 ~ 65°C
	湿度	動作時	10 ~ 90% (結露なきこと)
		保管時	5 ~ 95% (結露なきこと)
	寸法		164.6(W) x 184.66(D) x 31.75(H) mm
	質量		0.79kg(本体のみ)
適合規格	EMI 規格	CE/FCC/VCCI クラス B、C-Tick、Wi-Fi、TELEC	

*データ伝送速度、および伝送距離は使用時の環境や設定によって異なります。

ソフトウェア仕様

機能	内容
ネットワーク設定	DHCP サーバ / クライアント 固定 IP 設定、ゲートウェイ設定 ピーコンインターバル設定 DTIM 設定、WMM 有効化
無線設定	SSID、チャンネル設定 送信出力制御 接続モード設定 - アクセスポイントモード - WDS モード: Point-to-Pointブリッジ、Point-to-Multipointブリッジ
セキュリティ	WEP 64/128/152bit WPA-PSK(TKIP/AES)/WPA2 PSK IEEE 802.1X ユーザ認証 MAC アドレスフィルタリング アクセス制限 RADIUS クライアント: EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-PEAP SSID ブロードキャスト有効 / 無効設定 マルチ SSID (最大 8 個) IEEE 802.1Q VLAN

機能	内容
マネージメント	Web ベース GUI Telnet、SSH SNMP v.3 MIB、MIB- II Web/AP マネージャ /Telnet によるファームウェアアップデート、 コンフィグレーションのバックアップ、リストア TFTP クライアント NTP クライアント システムログ ステータス表示、WLAN クライアントパーティション設定 TCP/IP ブリッジフォワーディング IPX ブリッジフォワーディング AppleTalk ブリッジフォワーディング

5 保証とテクニカルサポート

製品に関する保証について

本製品には「製品保証書」が添付されています。所定事項の記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。本製品の保証は、この「製品保証書」に記載されている「保証規定」に基づいて行われます。

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、事前にユーザ登録を行い弊社サポート窓口へお問い合わせください。

1. ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
2. 弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
3. ダウンロードサービスをご利用ください。
 - * ダウンロードサービスをご利用になるためには必ずユーザ登録が必要です。
 - * 最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。

<http://www.dlink-jp.com/>

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の点についてお知らせください。

- ・ 製品名
- ・ お買い上げ年月日
- ・ シリアル番号（本体または箱に貼付）
- ・ ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン
（ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
- ・ ご使用環境（OS、周辺機器など）
- ・ エラーメッセージ表示されている場合は、その内容をお知らせください。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。

また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。

弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。

弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。

弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright 2006 ディーリンクジャパン株式会社